



投資環境

2024年6月11日

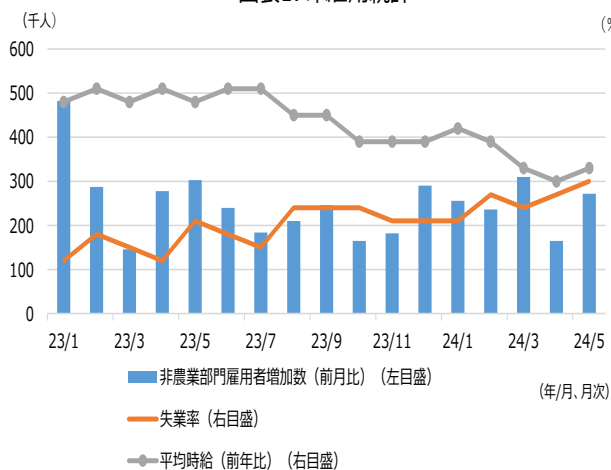
米利下げ遠のく、一方、加・欧は利下げ開始

□ 雇用統計受け、米利下げ遠のく

6月7日に、米雇用統計が発表されました。失業率は4.0%に上昇したものの、非農業部門雇用者の増加数、平均時給が市場予想を上回りました(図表1)。結果を受けて、市場の米利下げ観測が後退し、米長期金利は上昇、ドル高円安が進行しました(図表2,3)。

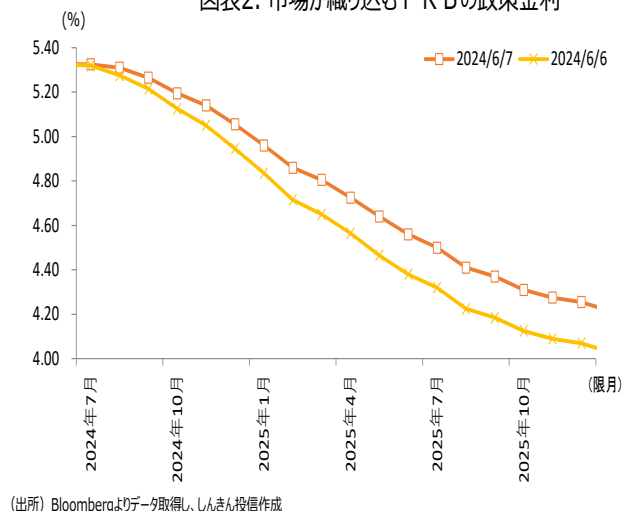
企業の採用意欲を示す米求人件数が減少するなど、米労働市場は減速傾向にあるとみられますが、コロナ渦前と比較すると堅調な状況が続いています(図表4)。そのため、米連邦準備理事会(FRB)は利下げを急がないことが予想されます。6月11~12日に予定されている、米連邦公開市場委員会(FOMC)では、3月の会合から年内の利下げ見通しが減少することが見込まれます(3月会合では3回)。

図表1. 米雇用統計



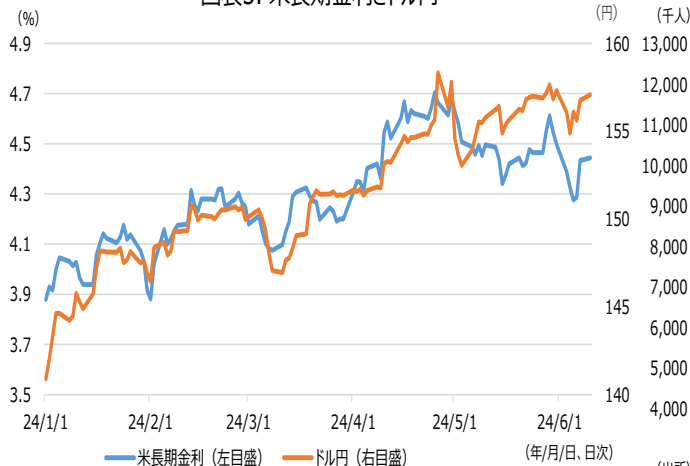
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表2. 市場が織り込むFRBの政策金利



(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表3. 米長期金利とドル円



(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表4. 米求人件数



(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



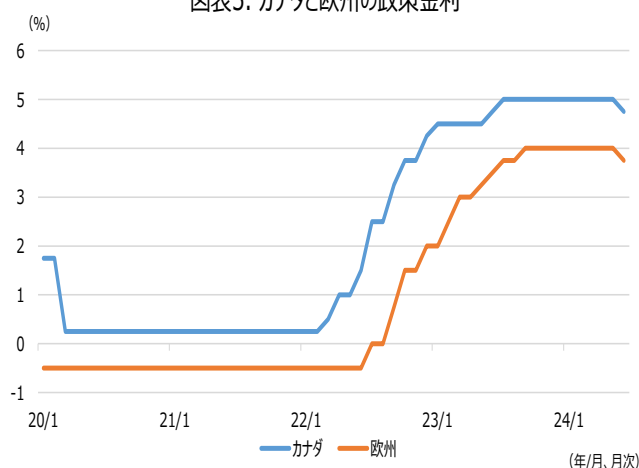
しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

▣ 加・欧は利下げ開始

カナダ中央銀行は6月5日、欧州中央銀行は6月6日に0.25%政策金利を引き下げました(図表5)。国内のインフレが落ち着き、2%の物価目標達成の可能性が高まったことなどが要因です。

カナダ・欧州とも、今後も政策金利を引き下げることが見込まれており、金利の低下が景気を押し上げることが期待されます。景気回復による業績拡大への期待から、両者の株式市場は堅調な動きとなっています(図表6)。

図表5. カナダと欧州の政策金利



(注) カナダの政策金利はカナダ銀行の翌日物貸出金利、欧州の政策金利は欧州中央銀行の預金フランティ金利
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表6. カナダと欧州の株価



(注) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。